

2022年度（令和4年度）

自動車リサイクル法に基づく 2022年度 再資源化等の状況

◆ASR（シュレッターダスト）

（対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日）

1. 再資源化の状況

引取台数	A S R引取使用済自動車台数		①	11,315台
	委託全部再資源化引取使用済自動車台数		②	160台
	合計		③=①+②	11,475台
引取重量	A S R引取重量		④	3,872.1t
	委託全部再資源化で抑制されたA S R重量		⑤	33.9t
	合計		⑥=④+⑤	3,906.0t
再資源化量	リサイクル施設*1	投入A S R重量	⑦	3,872.1t
		A S R由来の廃棄物重量*2	⑧	119.8t
		再資源化重量	⑨=⑦-⑧	3,752.3t
	委託全部再資源化*3	委託全部利用投入A S R相当重量	⑩	33.9t
		委託全部利用者で生じた廃棄物重量*4	⑪	0.8t
		再資源化重量	⑫=⑩-⑪	33.1t

- * 1 法に定める基準に適合した高水準のリサイクルが行える施設（基準適合施設）を示す。
- * 2 A S Rをリサイクルすることにより生じるスラグや飛灰等のうち、販売や処理されないで施設に残った、若しくは埋立処分された廃棄物の総重量。
- * 3 全部再資源化業務委託先（解体事業者、プレス、せん断処理業者）と委託全部利用者（電炉、転炉等）で、A S Rを生じさせないで使用済自動車を再資源化する仕組。
- * 4 委託全部利用者で鉄鋼製品を生産する際に生じるスラグや飛灰等のうち、販売や処理されないで施設に残った、若しくは埋立処分された廃棄物の総重量。

2. 基準の遵守状況

リサイクル率	実績	基準
	96.9% ※1	70%以上

リサイクル率は、次の算出式を用いて算出します。

$$\text{※1 ASR再資源化率} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{リサイクル施設投入A S R重量} \\ - \text{リサイクル施設で生じた廃棄物重量} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{l} \text{委託全部利用投入A S R相当重量} \\ - \text{委託全部利用者で生じた廃棄物重量} \end{array} \right]}{\text{引取A S R重量} + \text{委託全部再資源化抑制A S R重量}}$$

3. 払い渡しを受けた預託金額および再資源化等に要した費用

払渡を受けた預託金	141,822,897円
再資源化に要した費用	148,641,461円

4. A S Rの再資源化の取り組み

三菱ふそうトラック・バス(株)はART（自動車破碎残さリサイクル促進チーム）に参画し、A S Rの再資源化を実施しております。

ARTとしての実績については、<http://www.asrrt.jp/service/results/index.html>をご参照ください。

自動車リサイクル法に基づく 2022年度 再資源化等の状況

◆エアバッグ類

(対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 再資源化の状況

引取台数	取外し回収台数	①	5,305台
	車上作動*1台数	②	1,823台
	一部回収/一部作動*2台数	③	194台
	合計	④=①+②+③	7,322台
引取個数	取外し回収個数	⑤	9,417個
	車上作動個数	⑥	3,834個
	合計	⑦=⑤+⑥	13,251個
再資源化量	引取ったガス発生器の総重量	⑧	6,133.0kg
	再資源化された重量	⑨	5,840.8kg

2. 再資源化の状況

品目	実績	基準
エアバッグ類	95.2% ※2	85%以上

$$\text{※2 エアバッグ再資源化率} = \frac{\text{再資源化された重量}}{\text{引取ったガス発生器の総重量}}$$

3. 払い渡しを受けた預託金額および再資源化等に要した費用

払渡を受けた預託金	18,201,701円
再資源化に要した費用	23,410,333円

自動車リサイクル法に基づく 2022年度 再資源化等の状況

◆フロン類

(対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 破壊の実施状況

引取台数	CFC	①	143台
	HFC	②	10,543台
	合計	③=①+②	10,686台
引取重量	CFC	④	69.8kg
	HFC	⑤	3,168.5kg
	合計	⑥=④+⑤	3,238.3kg

注：三菱ふそうトラック・バス㈱の再資源化事業は、ASRIについてはART（自動車破砕残さリサイクル促進チーム）に、エアバッグ類及びフロン類についてはJARP（一般社団法人自動車再資源化協力機構）に委託しております。

3. 払い渡しを受けた預託金額および再資源化等に要した費用

払渡を受けた預託金	33,085,300円
再資源化に要した費用	31,983,070円

自動車リサイクル法に基づく 2022年度 再資源化等の状況

◆払い渡しを受けた預託金額および再資源化等に要した費用

(対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日)

項目			合計	内 ASR	内 エアバッグ類	内 フロン類
収入	払い渡しを受けた預託金	①	193,109,898円	141,822,897円	18,201,701円	33,085,300円
支出	再資源化等に要した費用	②	204,034,865円	148,641,461円	23,410,333円	31,983,070円
	内 社内費用 (人件費)	③	9,624,960円			
	内 社内費用 (システム費)	④	11,950,000円			
リサイクル収支		⑤	▲10,924,967円	⑤ = ① - ②		

【参考】2022年度リサイクル収支からの拠出費用

公財)自動車リサイクル高度化財団への拠出	⑥	-	
自社リサイクル高度化事業の実施	⑦	-	
合計	⑧	-	⑧ = ⑥ + ⑦